

視察報告書

実施日：平成28年7月22日

視察先：東京女子医科大学附属八千代医療センター

参加：八千代市議会議員18名

このたび、平成28年6月に竣工し、8月に開院予定の東京女子医科大学附属八千代医療センター第2病棟（新棟）の内覧会に、議員18名が参加した。

2つの班に分かれ、それぞれ病院関係者の案内のもと屋上、4階、2階の現地確認を行った。

概要は下記のとおりである。



東京女子医科大学附属八千代医療センターは今年で開院10周年を迎える。開院当初は稼働病床150床で診療が始められたが、平成20年、平成25年に増床され、現在は357床で診療が行われている。

今回新たに建設された第2病棟（新棟）は、ICU6床を含めた144床が設けられており、第2病棟の開院後は、既存棟と合わせ501床となる。

以下が施設概要である。

第2病棟（新棟）は、入院棟側に設置されていた駐車場を解体し、その跡地に地上5階建てとして建設され、屋上にはヘリポートも設置されている。

なお、建設にあたっては、柱頭免震構造が採用されており、また、立体駐車場の地下躯体は解体せずそのまま利用されている。



(第2病棟完成図)

第2病棟内には、救命救急センター、脳卒中ケアユニット、がん病棟が設けられている。

1階には入院・がん相談支援センター総合受付及び売店が設置されており、2階はICU、病棟となっており、3階から5階までは病棟となっている。

また、個室には、簡易ベッドにもなる椅子が設置されている。



(2階 ICU)



(4階 4床室)



(4階 1床室)



(屋上 ヘリポート)